農あるくらし講座 2022 もっと知りたい有機農業 (座学編)



実践編の 開催がない日 に行います

地域と地球の環境を守る 有機農業(オーガニック)連続講座

2022年

4~9月の隔週土曜

月2回 12回講座

午後1:30~3:00

地球環境問題と農業 4/16

4/23 環境を守る農業とは

5/7 オーガニックとは

5/21 世界と日本の有機農業

(2)

6/4 有機栽培とは(1)

6/18

7/2 // (3)

7/16 //

7/30

8/27 有畜複合の有機農業

9/3 環境再牛型有機農業

小さな農業は宝もの 9/17

講座の詳細は裏面にあります

日本農業 実践学園 での教室開催 (教室定員20名)

会場に来られなく ても、zoom でオン ライン参加

受講料(12回分) 25,000円 (実践編受講者は 20,000円)

お申込み後に振込 用紙をお送りさせ ていただきます



講師

NPO法人あしたを拓く有機農業塾代表理事 涌井義郎

元鯉淵学園農業栄養専門学校教授 有機農業の技(わざ)研究所主宰、技術士

お問い合わせ・申込み先

日本農業実践学園

水戸市内原町1496

(共催 NPOあしたを拓く有機農業塾 電話

web

029-259-2002 (学園代表)

Mail

nichinou@nnjg.ac.jp(学園) info@ashitafarm.jp(あした)

https://nnjg.ac.jp (学園) https://ashitafarm.jp(あした)

有機農業(オーガニック)連続講座



本学 MENU

毎回、事前にレジュメやスライド資料などをメールにて配布します

毎回

13:30~

15:00



地球温暖化(気候危機)や生き物の大量絶滅(農林業の責任が大き い)、川や海の汚染(チッソ、リン肥料の過剰施用)など、地球の環境問 題が深刻さを増す中、人々の環境意識は高まり、健康的な食生活へ の期待も増しています。

世界的に、農業のやり方を変えようという運動が進んでいます。低投 入持続型の有機農業への転換です。日本も2050年までに有機農業の 面積を25%(100万ha)に拡大する目標ができました。家庭菜園など小 さな取り組みも含めて、多くの市民に有機栽培の理解が進んでほしい と念願します。公開型のオーガニック連続講座を開講します。



これまでの農業は、温暖化や生き物の絶滅を促してきた \bigcirc 4/16 地球環境問題と農業

(2) 4/23 環境を守る農業とは 温暖化や生き物の絶滅を防ぐ、これからの農法

 $\bigcirc 3 \ 5/7$ オーガニックとは

オーガニック、ビオなど呼ばれる低投入・持続的農業

有機農業の姿はさまざま、各地の多彩な農法を紹介 世界と日本の有機農業 (4) 5/21

(5) 6/4 有機栽培とは(1) 土づくりと多品目栽培

堆肥、ボカシ肥料、緑肥作物、土の中の生き物の力 ⑥ 6/18 (2)

(7) 7/2(3)農薬を使わない病害虫回避の方法、健全な作物を育てる

地域資源の活用、生き物と共生する農業 (8) 7/16IJ (4)

タネの話、野菜の栄養と機能性の話 9) 7/30(5)

作物栽培と家畜飼育の連携、資源循環のあり方 $\bigcirc 0$ 8/27 有畜複合の有機農業

環境再生型有機農業 不耕起・極少施肥の農法へ (11) 9/3

小さな農業が協働して子どもたちの未来を守ろう、総合討論 ① 9/17 小さな農業は宝もの

全て土曜日開催となります。 諸事情により日程が変更になる場合があります。

申込の際には、氏名、年齢、性別、住所、電話連 絡先(できるだけ携帯)、メールアドレス(確実 に受信できるもの)、座学編を教室・オンライン のいずれで受講希望するのか(教室希望の方でも オンライン受講もできます)を伝えるようにお願 い致します。実践編との同時申込みも可能です。

